

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

あなたも大障教へ 組合の様々なとりくみに、誘い合ってぜひご参加を

大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため
みなさんの加入を心よりお待ちしております！

新年度がスタートして約3週間が過ぎました。新規採用者のみなさんにとっては毎日が緊張の連続で、そろそろ疲れも出るころではないでしょうか。ベテラン・中堅の先生方も、新たに担任した子どもたちのための教材準備や、年度始めに集中する様々な仕事に追われ、忙しくお過ごしのことと思います。

大障教大阪府立障害児学校教職員組合(は)府立支援学校における教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2017年度も運動を進めていきます。新年度に当たり、大障教のとりくみへの引き続いてのご協力をお願いいたします。また、この機会に一人でも多くの教職員のみなさんが組合員として私たちの運動に参加していただくことを、心から呼びかけます。

「すぐ技!つながりあそび」講座にぜひご参加ください

5月19日(金)にはヴィ
アーレ大阪(大阪市中央区安
土町3-1-3)を会場に、新
転任歓迎実技講座「すぐ技!
つながりあそび」を行います。
講師には、「びかりん」の愛称
でも知られる二本松はじめさ
んをお招きしています。二本
松さんの講座は、教室ですぐ
に使える歌や遊びを身につけ
られるだけでなく、知らない
間(こ)に心が温かくなり、子ども
たちをもっと優しい目で見た
いと思える内容が魅力です。
会場のヴィアーレ大阪は、地
下鉄本町駅「号出口より
徒歩3分の便利さです。職場
で幅広く声をかけて、お早め
にファックスでお申し込みく
ださい。
その他、旧府障教職場対象
のバレーボール大会(4月2

教員採用選考学習会のとりくみ

大阪教職員組合が後援する
「めざとも」仲間とともに
なにわの教員採用選考学習会
(略称「めざとも」)が今年も、
5月20日(土)に大阪府立労働
センター(エルおおさか)を
会場に行われ、6月10日
(土)と6月24日(土)には
大阪府教育会館たかつガー
デンを会場に行われます。こ
の「めざとも」は、「ともに励
まし合いながら合格をめざそ

全教共済(大教済)にもご加入ください

教職員組合は、職場の仲間
が様々な願いを持ち寄ってつ
ながり合い、みんなで語り合
い学び合つ活動をする組織で
す。学校の環境が少しでも良
くなるように、教育予算の増

2日)や、地域ブロックごとの
新転任歓迎のつどいなども計
画しています。職場内外での
親睦をより深めるためにも、
ふるってご参加ください。



額や障害児学校の建設などを求める活
動に、父母や府民のみなさんと力を合
わせてとりくんできました。
また、「つた」した活動と合わせて、教職
員がお金を出し合い、仲間同士で助け
合つ「共済」の仕組みを自主的に作り、
その運用も行っています。大障教が扱
う「全教共済(大教済)」は、組合員で
ない方でも気軽に加入できます。特に
月々600円の掛金で、結婚・出産時な
どに給付が受けられ、退職時には掛金
が全額戻ってくる「総合共済」は、新規
採用者の皆さんにもおすすめです。ま
ずは、新転任や職場のとりくみなど
に参加して、組合のことを知ってくだ
さい。その上で多くの教職員の皆さん
に、大障教に加入していただけること
を願っております。

大障教執行委員長・戸田勝浩



書記局の ひとりごと

熊本地震の発生から1年が経ちました。20
16年4月14日・16日という短期間に、同じ
地域で震度7の激震が連続して発生したのは、
わが国の災害史上初めてのことでした。熊本・大
分両県で、関連死や豪雨被害を含めて228人
が亡くなり、重軽傷者は3千人近くに上りまし
た。

熊本地震の特徴の一つは、膨大な住宅被害で
す。熊本・大分両県で19万棟の住宅が損壊しま
した。熊本県は、昨年11月までに4303戸の
応急仮設住宅を完成させ、無償で入居できる民
間の賃貸住宅「みなし仮設住宅」を、約1万2千
世帯に提供しました。それでも、原則2年とい
う入居期間の延長を求める声が続いてきているの
が現状です。

熊本地震の住宅被害は、公的支援の対象外で
ある一部損壊「家屋が約8割にのぼったことも
深刻でした。地盤が崩壊した地域が多く、地盤
強化のくい打ちで数百万円かかり、支援金が
吹っ飛ぶ」というケースも少なくありません。

安心して暮らせる住まいは地域を再建する土
台です。「一部損壊にも支援を」と、被災者の粘
り強い運動が実を結び、一部損壊世帯への義援
金の配分や、半壊でも仮設住宅入居が認められ
るなどの前進がありました。しかし、熊本県は
「大空港構想」に基づく空港の機能強化「国際ク
ルーズ拠点の形成」など、不要不急の大型開発を
今後の復興対策の中心に据えよつとしています。

9月末で期限が切れる医療費免除措置の継続
など、被災者の要望に応じた多様な支援を求め
る声は、まだまだ切実なものがあつます。被災者
の声を丁寧(こ)に拾い上げる姿勢が、国や自治体には
求められています。

新歓昼食会に37人!



新転任のみなさんと楽しいひととき!

新しい仲間を迎え、

各分会での趣向を凝らした新歓のとりくみ(その1)

交野支援学校四條畷校分会

昨年(2016)に続き、2回目のとりくみ

四條畷校分会では今年度もたくさんの方の新転任者を迎えるに当たり、分会役員会で歓迎の準備をしてみました。4月3日の辞令交付式には、分会から2人が会場の大阪国際交流センターま

ご案内しました。お会いし、一緒に楽しくおしゃべりしながら学校まで

そして4月4日の昼休みには、新規採用の8人を含む19人の新転任のみなさんと組合員18人の参加で、新歓昼食会を行いました。四條畷校分会としては、昨年(2016)に続き2回目の新転任歓迎昼食会で、今年もたくさん

ただ、本当にうれしく思いました。歓迎昼食会は大島分会長のあいさつから始まり、新転任のみなさんと組合員が

入り混じっての自己紹介が続きました。今年の抱負を織り込んだ自己紹介はとても楽しく、アットホームな雰囲気です。今年度も、新転任のみなさんがすすみま

のスタートと、いろんな想いを交流することができました。短い時間ではありましたが、2017年度のスタートとして、とても良いとりくみができたなあと思いました。(四條畷校分会 鈴木浩司)

37人がそれぞれ自己紹介しました



先輩に聞こう! Vol.19

教材準備や分掌業務などに追われ、子どものことを話す時間がなかなかとれません。どう工夫されていますか? 匿名(知的障害支援学校分会)6年目

学校は種々の会議や文書作成などで、どんどん多忙化していていますよね。「給食の時のちゃん、めっちゃ可愛かった!」「君、はじめて朝の会の歌、声出して歌ってくれたよ」など子どもの素敵な姿や、頑張った姿、こんなこともしてみたいねという話が確かにできなくなっています。忙しい中ではありますが子どもの話がしたいという思いはとても大切で、それを持ち続けているあなたは子どもに寄り添い続ける先生になると私は思います。

さて、工夫の具体的な内容ですが、少しの時間、合間の時間に同僚の先生に話しかけてみませんか。教材を作りながら、1日の記録を書きながら、廊下を歩きながらでいいんです。みんなも子どもの話がしたいと思っているはずですから、きっと返事を返してもらえます。いつも子どもの話が気軽にできる学校は、子どもを大切に、実践面でもよいとりくみができる学校だと思います。

雑談的なものだけでなく、クラス・学年・グループで授業や評価の話をする時間も取りにくくなっています。私は以前の職場で安全衛生委員会のメンバーでした。その会議で、休憩時間やゆとりの日にも会議が入ってしまい子どもの話ができていない現状、それを改善するために全校的に会議や研修の見直し・検討をすることが必要であると発言してきました。もちろんすぐには改善されませんが、みんなが意識を持つように声をあげることは大切だと思います。

鳥取大学の三木裕和先生は「学校を変えるのはヒソヒソ話から」と言われていました。大きな声で主張しなくても、まず、お隣の先生に話しかけてみてください。先生の子どもへの思いが学校中に広がることを期待しています。(久保知子 大障教本部 38年目)

